

釣り台付き遊歩道（脇田海釣り桟橋）指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	ひびき灘漁業協同組合
<p>1 指定管理者としての適性について</p>	<p>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針 釣り台付き遊歩道（以下本施設）の管理運営にあたっては、「都市住民と漁村住民とのふれあい」「市民と交流する魅力ある水産業の創造」実現のための「交流の場」であることの自覚を持ち、多くのお客様をお迎えすることによって、地域の活性化（脇田・若松北海岸）に貢献します。</p> <p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤 本施設は、その特殊性により、周辺海域の気象・海象及び魚種、釣法に精通した人材や非常時の救助艇の運転資格（小型船舶操縦士免許）が必要と考えますが、それらの人材を地元から確実に採用することが可能です。ひびき灘漁業協同組合（以下当組合）の組合員は全般に施設に対し協力的で理解があり、今後雇用が必要な場合においても良い人材を確実に確保できます。</p> <p>また、当組合は、設立以来毎年度黒字の収支を続けており、借入金なく経営を行っています。</p> <p>土地や不動産も多く所有しており、自己資本比率は93.7%（令和6年3月末）と高く、健全な組合運営を継続することができます。</p> <p>(3) 実績や経験など 当組合は本施設の開設（平成13年9月）から現在までの約23年間にわたり、管理運営を担っており、55万人を超える多くのお客さまをお迎えしていますが、その間においては「落水者ゼロ」を達成し、老若男女に安全安心で快適な憩いの場を提供しています。</p> <p>近年の入場者数は、コロナ禍及び地球温暖化による海水温上昇等の自然由来の「海の異変」に起因する釣果不良の進行により減少し、経営環境は厳しいものとなっています。</p> <p>その中で、熱中症の予防・暑熱対策としてスポットクーラーを設置して環境を改善、貸し釣具システムの充実による利用促進や初心者に対する釣り指導を丁寧に行う等の取り組みを愚直に実施し、施設の利用促進に努めました。</p> <p>営業・広報活動については、釣具店、新聞、雑誌、市政だより、インターネット等を活用し、釣果情報・イベント情報等を積極的かつタイムリーに提供しました。また、令和5年度の管</p>

		<p>理運営費は、施設稼働率が同レベル(約94%)の令和元年度比で、9.0%節減しています。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 管理運営計画の適確性</p>	<p>【有効性】 に関する 取組み</p>	<p>(1) 施設の設置目的の達成 各種団体に対し、釣り大会等のイベントの実施を呼びかけ、その支援・後援によるイベントの誘致を促進し、本施設の利用を促します。 更に、身障者の方にも利用しやすい施設である特色を活かして、身障者施設や支援団体等にも広報を行い、また身障者割引制度の導入も検討します。</p> <p>(2) 利用者の満足度 サービスの質を向上させるため、従事者教育を継続してレベルアップを図るとともに、お客さまからのご意見・ご要望・苦情等については必要な検討を行い、今後の管理運営に活かします。 また、お客さまの満足度やご意見等を正確に把握するため、アンケートの回収率を向上させる施策を早期に実施します。</p>
	<p>【効率性】 に関する 取組み</p>	<p>(1) 経費の低減 与えられた指定管理料の中で、利用者サービスの向上と適正な経費節減を両立させるべく、費用対効果の向上に愚直に取り組めます。</p> <p>(2) 収入の増加 本施設利用促進の最大の障壁である釣果不良の改善及び<u>新たな周辺施設を活用しての集客効果増大、使用頻度の少ない休憩所2階の有効活用等</u>に取り組むことで、収入の増加を図ります。 また、貸し釣具システムの充実により、初心者の方の利便性を向上させ、併せて釣り指導を丁寧に行うことにより、釣り経験のない利用者や女性、子供、高齢者、身障者の方々にも<u>手ぶらで気軽に本施設を利用してもらえるよう</u>に十分に留意して取り組めます。 以上のように、収入を増加させ、経費を適正に低減する取り組みを継続することにより、「利益のあがる体質の構築」を目指します。</p>

	<p>【適正性】 に関する 取組み</p>	<p>(1) 管理運営体制など 本施設の管理運営については、当組合の地区代表理事を始め、統括責任者・現場責任者を中心として、施設内の業務を担当する施設部と庶務・経理を担当する事務部に、これまでの経験と有している資格を基にして業務に精通した従事者を配置し、業務遂行します。</p> <p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など 本施設が海上に設置されていることに鑑み、気象・海象に常に留意し、利用者の人命尊重を第一として施設の開閉を行い、開設時から継続している「落水者ゼロ」を目指します。 また、定期に実施している救助訓練については行政との連携に留意し、取り組みます。 お客様へのサービスについては、基本である平等利用を徹底し、お客様へは利用者マナーが遵守されるように監視、啓発を行います。</p>
--	-------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

提案額（千円）

7年度	10,610千円
8年度	10,610千円
9年度	10,610千円
10年度	10,610千円
11年度	10,610千円